

“マルシア”トークイベント

多数の移住者を送り出してきた海外移住と文化の交流センター開館10周年記念として、神戸からブラジルへ渡られた祖父母を持つ歌手・女優のマルシアさんに、デビュー30周年を契機に、17歳から日本で活動してきた自身の経験談を含め、全く違う文化の中で過ごしてきた半生を振り返ってお話しいたします。

同じく日系で天理大学の野中モニカ准教授との対談も予定しています。

マルシアさんはブラジル・サンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス出身の日系三世。

1986年、ブラジルで開かれたテレビ東京の『外国人歌謡大賞』で優勝しブラジル代表として初来日。このとき審査員をつとめていた作曲家の猪俣公章の目に留まり、猪俣がブラジルへ足を運んでスカウト。家族の反対にも「同じ後悔するならば挑戦してから後悔したい」と説得し17歳で単身来日。それから2年3ヵ月に及ぶ内弟子修行を経て、1989年1月に「ふりむけばヨコハマ」でデビューし、『第31回日本レコード大賞』で最優秀新人賞を獲得するなど、数多くの新人賞を受賞。その後は女優としても活躍の幅を広げています。

開催日時 2019年12月1日(日)
13時30分開場 14時開始 16時終了予定
場所 海外移住と文化の交流センター5階ホール
定員 120人(申込先着順、定員に達し次第締め切り)



海外移住と文化の交流センター館内見学

ブラジルなど中南米諸国への移住者が日本での最後の日々を過ごした施設を改修し、2009年に「海外移住と文化の交流センター」がオープンしました。センター内には移住ミュージアムがあるほか、在住外国人の支援、国際芸術交流の活動が行われています。

当日はコーヒーの試飲会も行いますので、館内もじっくりご覧ください。

- ・開館時間:10時～17時
- ・移住ミュージアム見学(専門調査員による説明)



移住ミュージアム「移住者の部屋」



ブラジルコーヒー試飲会(無料)

12時から13時30分 1階喫茶エリア



- 主催 海外移住と文化の交流センター
一般財団法人 日伯協会、神戸市
- 協力 UCC ホールディングス株式会社

申込・問合せ先

一般財団法人 日伯協会

電話・ファックス 078-230-2891 E-mail info@nippaku-k.or.jp



- JR・阪神電車「元町」東口より鯉川筋を北へ徒歩15分
神戸市営地下鉄「泉庁前」より、徒歩10分
 - 神戸市営バス:「三宮駅前」または、「元町駅前」から
①系統に乗車「山本通3丁目」下車、北西へ徒歩3分
または「山本通4丁目」下車、東へ徒歩3分
- *当センター北側の有料駐車場利用可能台数は13台です